

第16回

ウィズバイク ライディングレクチャーへようこそ!

ウィズバイク ライディングレクチャーへようこそ(^^)/

そろそろ梅雨も明けバイクシーズン真った大ですが、ちょっとその前に・・・皆さん走る前にやる事を済ませましたか?!

いつも言うように「走っているのは皆さんではなくバイク」なんですから、今回は彼(バイク)に気持ち良く走ってもらうためのメンテを紹介しましょう(^^)☆



タイヤ君 唯一路面と接していて、 全てを受け止めてくれる頼りになるやつ

【こんな事になってない!? (^^) その①】

タイヤ君も風邪を引くのを知っていますか?
満が残っていても2~3年でタイヤは硬化します。
時々爪を立ててみてカチカチになっているよう
なら要注意(+,+)



【こんな事になってない!? (^^) その②】

「空気圧とか数ヶ月に一回測ればいいかな…」みたいなライダーは要注意(+,+)

現在のタイヤは年々潰れやすくなっています。
潰れる事によってグリップと操安性を高めているんですね(^^)/
なので高過ぎる空気圧は折角の潰れ感がなくなり不安定になります。
逆に低過ぎれば潰れ過ぎて動きが重くなっちゃいます(^^)/
要は内圧(空気圧)によって潰れ具合が変わるって事!
以前より空気圧の重要度が増しているのです(^^)/
気持ち良く乗るなら標準空気圧より
少し低めで乗るのもあり(^^)/
乗る前には必ずチェックチェックしましょう!
寒い時期にチェックした空気圧は、
暑くなると膨張します。逆もまたしかり・・・



サスペンション君 乗り心地を良くし、 コーナーリングまで変える凄いやつ

【こんな事になってない!? (^^) 】

バイクのさまざまなパーツは、メーカーのテストライダーが走行を繰り返したうえで決定し、セッティングされ完成車となります。対して数万キロ走行したバイクは…(+,+)
フォークオイルの劣化や減少、リアサスでもオイルの劣化や窒素ガス減少
など新車時とはかけ離れた状態になっています。更に言えばサスペンションに繋がる
可動部ベアリングもダメージを受けているのでちゃんと動かなくなっている
ことがよくあるんです…(+,+)

サスペンション君が老化現象を起こすと柔らかくなる傾向にあり、乗り心地がよく
なつたと感じる人も多そうです…がしかし大間違い!

ちょっとした体重移動や路面のうねりで車体が動き過ぎればライダーは無意識に
ゆっくり(恐る恐る)動作、操作しようします。

これではきびきびとしたライディングは出来ませんね(^^)/

またリアサスの窒素ガス圧が下がる事によってバイクは後ろ下がりの姿勢になりま
す。この後ろ下がりの姿勢は向きを変えにくくしてしまうのです。

更に!! 柔らかい腰のないサスペンションはタイヤ君を潰す力を出せないのので、タイ
ヤの接地感(グリップ)をなくしてしまうという怖い事が起こってしまいます。



汚れると粘度も変わる (+,+)



フォーク内部のスライドブッシュも
1万kmで摩耗…(+,+)

ブレーキ君 命を守り、コーナーリングで 最も大切な進入を左右する職人

【こんな事になってない!? (^^) 】

最近のスポーツバイクには大抵DOT4 という高性能フルードが使われて
います。こういった高性能フルードは実はとても劣化しやすいの
です(^^)/半年に1回はフルードの交換をしたいところですね(^^)/
劣化したブレーキフルードは水分を含んでいるのでエアを噛
み易くフワフワしたタッチになっちゃいます(+,+)
(雨の湿度の高い日にフルード交換をしない方がいいのはそんな理由なん
です(^^)/)

フワフワのブレーキは制動力が極端に悪くなり、コントロール性
もないので危険を回避する事はもちろんの事、コーナーへのアプローチ
もやりにくくなります。

コーナへ進入で素早いバンクングをする為には、
微妙な調整ブレーキが不可欠なんです(^^)☆



レバーがグリップに付くようでは
もう末期…(+,+)

チェーン&スプロケ君 エンジンとタイヤを 繋げる力持ち

【こんな事になってない!? (^^) 】

チェーンも1万キロも走れば、たいてい動きも固く片伸びしています(+,+)
同時にスプロケも片盛りするのでますますチェーンの劣化を招いてっちゃうんですね(+,+)
タイヤのグリップ感はアクセルを開けたり閉じたりする事で

チェーンを駆動させ、タイヤが路面を掴む事で感じるので。

(加速中に一番グリップ感を感じるのはそのせい(^^)/)

チェーンが固着していたり、片伸びによってスムーズに動かないとグリップ感
は感じにくくなります(+,+)

同じ理由で遊びが多過ぎるチェーンはトラクションを感じるのが遅れるし、張り過ぎ
だとスイングアームの動きを邪魔してしまいます(+,+)



張り過ぎ (+,+)



ゆる過ぎ (>,<)

この様に色々な部品君がいい仕事をして初めてバイクは気持ち良く走ってくれるんです(^^)/

逆に皆が少しずつ手を抜けば新車時とはかけ離れたバイクの出来上がりですね(+,+)

皆さん! 走るのはライダーではなく、バイク君だという事を今一度考えてみましょう!

このページに取り上げてもらいたい内容があれば
RSG 掲示板か、お問い合わせに書き込んで下さいね~(^^o)

【ライディング Dr. MINAKI】 RIDING SPORTS GARAGE 代表

西日本チャンピオンを経て1990年レースブームの真った大で、国際A級へ自動昇格し全日本選手権を転戦。

鈴鹿8耐に幾度も出場し完走。現役時代より教え出したら止まらない癖あり。

現在は、ショップと各サーキットでの一般ライダー向けスクールを年間25回以上開催。

コーチングノウハウを駆使してRSGレーシングを率い、同チームから全日本オートポリス大会には4名のライダーが出場した。

岡村光矩選手は現在最も激戦のST600クラスにおいて2012年全日本ランキング13位を獲得した。

ライディング スポーツ ガレージ

〒811-1242 福岡県筑紫郡那珂川町西隈 4-9-5

TEL 092-951-2299 FAX 092-951-2288

『RSG で検索』

RSG HP <http://rsg-sports.com>

profile

